

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学大学院医学研究科

産科婦人科学講座

研究責任者： 重藤 龍比古

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 卵巣がん・卵管がん・腹膜がん治療後のフォローアップに関する研究

研究の目的

本邦では海外諸国に比して公的医療保険制度が充実していることにより、がん患者は治療終了後に再発の有無についてチェックするための検査（フォローアップ）を頻繁に受けている可能性があります。また、CT 撮影装置も世界的にみて充実しており、国内では卵巣がんのフォローアップに定期的な CT 検査を行い再発の有無を確認している施設が多く認められますが、諸外国では、腫瘍マーカーや自覚症状、身体所見等で異常が認められた際に CT 等の画像検査を施行するように勧めているガイドラインが多いです。

本邦では同じ卵巣がんでも腫瘍マーカーが上昇しづらいタイプの卵巣癌の組織型である明細胞癌の割合が欧米に比し多いです。また、無症状のうちに再発を発見できた場合に予後が改善する可能性があるとの報告もありますが、フォローアップの際の定期的な CT 検査の有効性については結論がでていません。

そこで、フォローアップの際にどの検査が再発発見に役立っているかの検証を行うため、フォローアップの検査内容や回数、再発の発見方法について検討を行います。

研究実施期間 実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日

対象となる方 2014 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までの期間、産科婦人科を受診し、卵巣がん・卵管がん・腹膜がんと診断され治療を行った方のうち、当院で治療後のフォローアップを行なわれている方。

利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、以下の情報を標記研究課題実施のために利用します。

- ・進行期、組織型、年齢、組織型。
- ・フォローアップ期間。
- ・フォローアップ受診時の自覚症状の有無、診察所見、超音波検査、腫瘍マーカー値、CT 検査の結果。

- ・再発した場合の時期・部位、予後。

外部への試料・情報の提供

外部への情報の提供はおこないません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	産科婦人科・重藤 龍比古 連絡先 0172-39-5107/ t-shigeto@hirosaki-u.ac.jp
--------------	--